

和歌山大学紹介 アン (ベトナム・交換留学生・ホーチミン市師範大学)

どんな時代でも知識が大事なものだ。さらに、現代の社会では、人間の需要にこたえるように、科学研究が絶えず進んでいる。科学の進歩を遂げた国は、たしかに経済もそれに従って発展していく。

知識が大事であるが分かって、子供を留学させる親が徐々に増えつつある。

「井の中の蛙では満足しない」。留学というのは勉強するのみならず、世界に視野を広げる意味も持っている。今、ベトナムで人気のある国はアメリカとか日本のような強国である。

軍備、経済力ともに優れた強国だから、生活費が非常に高い。それに、いい学校に入学するのは簡単なことではない。しかし、子供を留学させると決めたからには、最も気になるのはお金ではなく、いい学校といい生活環境だろう。

そう思ったら、なぜ和歌山大学へ進学しないのだろうか。

和歌山大学は長年発展歴史がある日本の国立大学である。1949年に和歌山師範学校、和歌山青年師範学校、和歌山経済専門学校を包括して新制和歌山大学が設置された。それから、幅広い教養を持ち、多角的に物事を捉えることができる社会性豊かな人材教育を担う総合大学へと発展して、学部や学科が改革されてきた。



自主性創造性を伸ばす教育が目標として推進されている。ここの教授はいつも穏やかで、熱心だ。学習の疑問や困ったことはいつでも先生と直接相談することができる。

現在、教育学部・経済学部・システム工学部・観光学部の4学部と、教育学・経済学・システム工学3研究科から構成される。観光学部は2008年に国立大学法人として初めて設置された。

近代的な設備の整った教室、研究室、学生自主創造科学センター、図書館などが付属している。学生は正式の学習時間以外にゼミナーもとることができる。

有意義な大学生活を送るため、剣道、居合、合気道、バスケットボール、サッカー、テニスなどの課外活動も盛んであり、大学の承認を受けた学生団体によって自発的に自らの責任によって活動している。

そして、7月には学校の「和太祭」という祭りが行われる。日本人学生と留学生が好きなだけ遊んで、交流する時間である。

本学の国際交流が広まっていて、アメリカ、フランス、中国、ベトナムなど、世界の色々な大学と交流協定を結んでいる。和歌山出身の人ばかりでなく、多くの大阪出身の教師、学生、外国人もここで活躍している。それは、大学の方が応援活動をたくさんしているからだろう。学生の質問や手続きは、みんな国際教育研究センターで支援してもらう。国際教育研究センターは留学生を支援するところである。留学生のための、奨学金情報やアルバイト情報、祭りの情報は常に更新されている。その上、日本人学生によるIECという組織。IECのメンバーは留学生が早く日本の生活に慣れるように、いつでも喜んで留学生を助け、友達になったりしてくれる。



生活については、留学生は国際交流会館に1年間住むように、申し込むことができる。会館は学校からちょっと遠いが、家賃も安いし、部屋も便利だし、色んな国から来た学生達と交流するチャンスがある。台所用具や布団や乗り物などは、ほとんどWINコンコードというボランティア団体から貸してもらう。その結果、初めて和歌山に来た留学生でも心配しな

くて、早く新しい生活に溶け込み、集中して勉強することができる。

最後に、留学するのは思っているほど大変ではないと言いたい。若いうちに、成長して、経験して、視野を広げるために、できる限り、いろいろなことにチャレンジしよう。和歌山大学で、皆のもとで、多角的に育てられ、いつか自分にとって、本当の価値がある道に気がつくであろう。和歌山大学へようこそ！